

江別市立対雁小学校

# スタート カリキュラム



なぜ？

# 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が幼保こ小連携の ” 架け橋 ” となる理由

子どもたちの「楽しい学校生活」は、園と小学校が手を取り合うことから始まります。  
「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は、そのための大切な共通言語です



## 育ちの「共通理解」が生まれる

園での「遊び」を通して育まれた学びの土台を、小学校の先生が具体的に理解する指針となります。一人一人の育ちの連続性の中で捉えることができます。

## 円滑な「接続」を支える

子どもたちが環境の変化に戸惑う「小1の壁」を低くします。園での経験を自身にして、小学校の生活や学習に意欲的に向かう力を支えます。

## 達成目標ではない「道しるべ」

全員が同じように達成するものではなく、一人一人の子どもの個性や発達の様子を捉えるための「めやす」です。

# 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿



## 1. 健康な心と体

充実感をもって自分のやりたいことに向かい、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出す。

例) 目標をもって鉄棒や縄跳びに挑戦し、できなくても気持ちを切り替えて乗り越えようとする。



## 2. 自立心

自分の力でやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動する。

例) 自分のことは自分で言い、できないことは「手伝って」と伝えながら、自分でやろうとする。



## 3. 協同性

友達と共通の目的のために、考えたり協力したりする充実感を味わう。

例) 劇の役割を分担したり、みんなで使うものを協力して片付けたりする。



## 4. 道徳性・規範意識の芽生え

して良いこと・悪いことが分かり、相手の立場を考えて行動し、決まりを守ろうとする。例) けんかをして「ごめんね」と謝ったり、遊びのルールを自分たちで話し合っ



## 5. 社会生活との関わり

家族や地域の人との触れ合いの中で、自分が役に立つ喜びを感じ、社会とのつながりを意識する。

例) 地域の行事に参加したり、お店屋さんごっこで社会の仕組みを真似したりして楽しむ。



## 6. 思考力の芽生え

物の性質や仕組みに気付き、考えたり試したり工夫したりすることを楽しむ。

例)「どうしたら高く積めるかな?」と考えたり、友達の違う考えに触れて自分の考えを深めたりする。



## 7. 自然との関わり・生命尊重

自然の不思議さや命の尊さに気付き、いたわり、大切にしている気持ちを持つ。

例) 育てている野菜や花の成長を喜び、虫や動物など命あるものを大切に扱う。



## 8. 量・図形、文字等への関心・感覚

生活や遊びの中で数や形、文字の役割に気付き、必要感から活用しようとする。

例) おやつを数えたり、友達に手紙を書いたり、絵本の文字を指で追いながら読もうとしたりする。



## 9. 言葉による伝え合い

経験したことや考えたことを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりすることを楽しむ。

例) 週末の出来事を一生懸命話したり、絵本を読んだ後で感想を言い合ったりする。



## 10. 豊かな感性と表現

心を動かす出来事に触れ、感じたことや考えたことを自分なりに表現することを楽しむ。

例) 音楽に合わせて体を動かしたり、身近な材料で好きなものを作ったり、ごっこ遊びで役になりきったりする。

# スタートカリキュラムのねらいと 授業づくりのポイント

スタートカリキュラムは、小学校に入学した子どもたちが、幼稚園や保育園、こども園等での遊びを通じた学びを土台として、新しい学校生活に円滑に移行するための大切な期間です。子どもが安心して自己を発揮し、学びに向かう力の基礎を育むことを目指します。

## スタートカリキュラムが 目指す3つの姿



### ① 安心感が生まれる

園での活動を取り入れ、  
小学校生活への不安をなくし、  
安心して過ごせるようにします。



### ② 成長を支える

幼児期の経験を生かして自信と意欲を  
引き出し、自己肯定感を育みます。



### ③ 自立へつながる

自分で考え行動する力を育て、  
小学校6年間の学びの土台を築きます。

## 授業づくりの 4つのポイント



### ① 子供の成長を理解する

一人一人の幼児期の育ちや経験を  
生かして、学習活動を計画します。



### ② 学習活動を工夫する

長時間座るのではなく、体を動かす  
活動や短い単位時間を取り入れます。



### ③ 生活科を中心に学ぶ

教科を横断した合科的・関連的な指導  
で、子どもの思いや願いを実現します。



### ④ 安心できる環境を整える

園に近い空間を作ったり、予定を絵で  
見せたりして、見通しを持たせます。

4月第1週 4月7日(火)～4月10日(金)

テーマ

## はじめまして 小学校！

学校の様子や生活の仕方を知り、期待をもって楽しむ。また、小学校入学により新しく出会った教師や友だちとともに元気に生活する。

ねらい

- 小学校の生活環境になじみ、安心して楽しく生活する。
- 朝の準備の仕方を知り、自分で取り組もうとする。
- 交通のルールを守り、安全に登下校する。
- 教師や友だちの名前を知り、あいさつをしたり、言葉をかわしたりする。

幼稚園・保育所の経験をもとに

- 基本的な生活習慣を身につける。
- 一日の流れを知り、時計を見ながら見通しをもって生活する。
- ふれあい遊びや集団遊びを通して、かかわりを深める。
- 自分か感じたことや体験したことを言葉で相手に伝える。

生活の視点

### なかま

- 新しい友だちがいっぱいいることを知る。
- 同じクラスの子供たちと積極的に話し、友だちになろうとする。
- 教師が話す時には、聞く姿勢を保ち、話の内容をしっかりと理解する。

### げんき

- 小学校での生活習慣やきまりを理解し、楽しい学校生活をスタートさせる。
- 小学校生活に必要なものを知り、使い方を身につける。
- 小学校での一日の流れを理解し、チャイムを知る。

### じぶん

- 教師や友だちについて知り、親しみをもつ。
- 今までの経験をもとに、新しいことにも興味・関心をもつ。
- 小学校での新しい生活に、楽しみや期待をもち、さまざまな人やものにかかわろうとする。
- 自分の思いや考えを、はっきりと相手に伝わるように自分の言葉で伝える。

### まなび

- 学校生活に必要なさまざまなことを知り、前向きな姿勢で取り組む。
- 学校生活で新たに学ぶことや、初めて知ることに対して、喜びを感じ、楽しんで取り組もうとする。
- 学校生活で出会う言葉や文字、数や数量に対して好奇心をもち、理解しようとする。

家庭・地域

- 学級通信を通して子供の様子を知らせたり、行事やもち物などを知らせたりし、子供がスムーズに学校生活を送れるようにする。
- 地域ボランティアの人と連携をはかり、登下校の子どもの安全を確保する。

幼稚園・保育園

- 幼稚園・保育園での一人一人の様子や家庭環境などを情報交換する。

小学校

- 小学校全体で1年生を迎え、見守る体制づくりをする。

## 指導のポイント

小学校の楽しさを伝える

基本的な生活習慣や

基本姿勢を身につけさせる

これまでの経験を活かし、  
自信をもって取り組ませる

- 授業や生活の中で、遊びの要素を取り入れながら活動し、緊張感を和らげながら楽しめるようにする。
- 授業や遊び、生活の中で、子供ができたことを認め、自信をもたせる。
- 学校での基本的な生活習慣を丁寧に伝え、確実に身につけさせる。
- 元気にあいさつや返事ができるように繰り返し指導する。
- 自分勝手な行動を見逃さず、注意・指導する。
- 幼稚園・保育園で行っていた遊びを取り入れ、環境が変わる中でも自信をもって生活できるきっかけをつくる。
- 授業や生活の中で、幼稚園や保育園で行ってきたことを思い出させたりしながら、自分ができることとして自信をもたせる。

## 環境づくり

クラスに子供を迎える準備

クラスの壁面を飾って楽しい雰囲気作りをしたり、在校生が歓迎する機会を設けたりするなど、楽しい学校生活のスタートが切れるようにする。

掲示物を使ってわかりやすく

朝の準備を絵や文字で表したり、声の物差しを用いたりして、視覚的に示しながら指導する。

親しんできた遊具や用具を使って

幼稚園・保育園で使ってきた遊具や用具を用意し、遊んできたことなどを取り入れる。

## 主な行事

- ・入学式
- ・3時間授業・・・3日間
- ・下校指導（教師引率）

### 時間割（例）

	月	火	水	木	金
朝			・登校後、朝の準備（6年生のよる準備の手伝い ランドセルの入れ方、提出物の出し方 など）		
朝の会			◎教師と一緒に朝の活動 ・朝のあいさつ ・健康調べ、提出物や連絡帳の出し方の確認		
1	入学式		がっかつ	おんがく	こくご
			・トイレ、手洗場	・手遊び歌	・座る姿勢、話の聞き方 ・自己紹介
おんがく			がっかつ	おんがく	
・手遊び歌			・保健室の使い方	・手遊び歌、知っている曲	
がっかつ			たいいく	しよしゃ	
・ロッカーの使い方			・整列、体育座り	・鉛筆の持ち方	
こくご			・おにあそび	こくご	
・読み聞かせ			・廊下のあるきかた	・自己紹介	
中休み			トイレタイム	トイレタイム	あそび、トイレタイム
3			がっかつ	さんすう	さんすう
	・くつばこの位置 ・帰りじたくの仕方 ・下校グループ	・教科書の開き方 がっかつ	・かずあそび がっかつ		
備考		・下校指導（引率）	・下校指導（引率）	・下校指導（引率）	

次年度に向けて 引き継ぎたいこと

4月 第2週 4月13日(月)～4月17日(金)

テーマ

## いよいよ勉強！自分で生活！

授業に向かう意識や態度を身につけ楽しく学習する。また、幼稚園や保育園との違いに気づき、小学校での学習に対する好奇心を高める。

ねらい

- 学校での生活の仕方を知り、自分のことは自分でしようとする。
- 授業中は、自分の席に座り、教師や友だちの話をしっかりと聞く。
- 学習の流れを知り、学習への意欲をもつ。
- みんなで楽しく給食を食べることができる。

幼稚園・保育所の経験をもとに

- 朝の準備など、身の回りのことを自分でする。
- 自己紹介をしたり、さまざまな場面で自分の考えや思いを言葉で相手に伝えたりする。
- しりとりなどの文字遊びや、友だちとのつながり遊びを活かす。
- 正しい箸の使い方を確認し、楽しんで給食を食べる。

生活の視点

### なかま

- 自己紹介を通して、自分のことを言葉で伝え、相手の話をしっかりと聞き、知ろうとする。
- クラスの友だちと遊びや生活をともにする中でかわりを広げる。
- 授業を受ける時は、教師や友だちの話をしっかりと聞く。

### げんき

- チャイムを合図とした時間の区切りがあることを知り、時間を意識して行動する。
- 授業準備(教科書、ノート、筆記用具などを机の上に出す。休み時間にトイレに行く)をする。
- 休み時間と授業時間の切り替えができ、集中して授業を受ける。

### じぶん

- 自分の名前を相手に知ってもらい、相手の名前も覚えることで親しみを深める。
- クラスの友だちの良いところを見つけ、親しみをもつ。
- 集団生活の中で、周りの状況を理解しながら、自分で考えて行動する。

### まなび

- 教材や道具に親しみ、積極的に学習に取り組む。
- 正しいえんぴつのもち方や文字の書き方、正しい発声の仕方を身につける。
- 簡単なひらがなや数字遊びを通して楽しく学ぶ。

家庭・地域

- 授業参観や学級懇談を通して、保護者と授業内容について共有した内容に基づいて、家庭と連携した教育につなげる。

幼稚園・保育園

- 幼稚園や保育園で取り組んできた遊びを通じた学びの内容について共有し、小学校での教育課程に活かしていく。
- 幼稚園・保育園の保育者と連携し、子供それぞれの特徴を理解する。

小学校

- 教師間で児童の様子に対する情報交換を行い、児童が小学校生活に慣れるように指導内容の改善・工夫を行う。

## 指導のポイント

### 学校生活の仕方を教える

- 運動場・保健室・職員室・体育館・図書室など生活に必要な場所を教える。
- さまざまな場所の使い方やそこでのルールを伝える。
- チャイムを合図とした時間の区切りを知らせ、休み時間は元気に体を動かして過ごせるようにする。

### 学習規律を教える

- イスの座り方やえんぴつのもち方などを繰り返し丁寧に指導する。
- 「～です」「～ます」を使った発表の仕方を教える。
- 運筆や音読などの学習を行い、学ぶ意識を高める。

### 新しい友だちをつくれるようにする

- クラスで自己紹介をし、友だちを知るきっかけをつくる。
- 体育や生活の時間に、集団遊びを取り入れ、クラスの友だちとのつながりをつくる。
- 下校時に同じ地区の友だちの顔や名前を覚えるように声をかける。

## 環境づくり

### 児童・教師との関わり

休み時間には、担任は児童と一緒に運動場に出て共に過ごし、教師間連携を密にし、教室以外で過ごす児童の安全を確保する。

### 図や文字を掲示する

椅子の座り方や鉛筆の持ち方、受け答えの仕方などを図や文字を用いて教室に掲示し、常に意識できるようにする。

### 友達を知るきっかけづくり

自己紹介カードや、名刺交換遊びなどを通し、友達と関わったり、掲示したりして、お互いを知るきっかけにする。

## 主な行事

- ・給食開始・・・余剰時数を使って給食指導
- ・交通安全教室（行事Ⅰ 歩行実習）

時間割	※行った学習内容を記載して下さい。				
	月	火	水	木	金
朝	・登校後、朝の準備（6年生のよる準備の手伝い ンドセルの入れ方、提出物の出し方 など）				
朝の会	◎教師と一緒に朝の活動 ・朝のあいさつ ・健康調べ、提出物や連絡帳の出し方の確認				
1					
2	体育館		体育館		
中休み					
3				ぎょうじ 交通安全教室	
4	せいかつ ・配膳の仕方 ・待ち方、食べ方	せいかつ ・配膳の仕方 ・待ち方、食べ方			
備考					

次年度に向けて 引き継ぎたいこと

テーマ

# お仕事、始まるよ!～勉強も頑張ろう～

給食や朝の会などの際に、当番としての役割を理解し、自分から行動する。また、基本的な学習規律を身につける。

ねらい

- 友だちと協力してさまざまな活動に取り組む。
- 一人一人が自分の役割を理解し、責任をもって自ら行動する。
- 学習環境を整えて、スムーズに勉強できるようにする。
- 当番(日直、給食)の仕方を知り、仕事をやりきる心地良さを感じる。

## 幼稚園・保育所の経験をもとに

- 朝の身支度を始め、基本的な生活習慣が身につく。
- 道具や身近なものを使って数を数えたり、鉛筆を使って文字や数字をかいたりして遊ぶ。
- 自分が経験したことを、友だちの前で話す。
- 絵本を読むことを通して、文字や言葉にふれる。

## 生活の視点

### なかま

- 教師や友だちの話の正しい姿勢で、しっかりと聞く。
- 友だちに話をきいてもらえる安心感を覚え、親しみをもって行動する。
- 給食の準備やそうじなどで、友だちと声をかけあったりしながらスムーズにできるようにする。

### げんき

- 身の周りのことや給食の準備、後片づけなどを自分で考えて行動する。
- 学校のルールを理解し、守りながら楽しく過ごす。
- 食材や、それを育てている人、調理している人に感謝の気持ちを持ち、好き嫌いをせずに食べる。

### じぶん

- 自分が体験したことや思ったことを自分の言葉で伝える。
- 遊びを通して、友だちとのかかわりを広げる。
- 友だちの良いところを見つけて、かかわりを深めようとする。

### まなび

- これまでの生活や遊びの経験を小学校の学習につなげ、活かしながら積極的に学ぼうとする。
- 学習する姿勢を身につけ、正しい姿勢で授業を受ける。
- 声を出すことによって、正しい言葉づかいや文字を覚える。
- これまでの生活や遊びの経験を、学習活動に取り入れる。

## 家庭・地域

- 個人懇談を通して、家庭での生活態度や配慮が必要なことなどについて把握する。
- 学校で教えていること(えんぴつのもち方など)を保護者にも伝え、家庭と一緒に身につけさせていく。

## 幼稚園・保育園

- 幼稚園・保育所の保育者も授業参観に参加してもらい、就学前教育・保育と小学校教育の違いや、共通することについて理解をはかる。

## 小学校

- 学年部会などで生活上の約束やルール(給食など)を統一する。
- 他の小学校での取組などを情報共有し、参考になる取組を自校でも実施する。

## 指導のポイント

### 学習規律を身につけさせる

- 授業を受ける際に、正しい姿勢や受け答えの仕方を身につけさせる。
- ノートや筆箱などの教材の置き方・使い方を知らせる。
- チャイムを意識して行動できるように指導する。

### 給食指導を通して 給食に興味をもたせる

- 安心して給食を食べられるように個々に配慮する。
- 箸、食器の正しい使い方を知らせる。
- きめられた時間内に食べられるよう見通しをもたせる。

### 自分の役割を意識させ 協力関係をつくらせる

- 当番活動や班活動においては互いに協力しながら取り組むように声かけをする。
- 食べられる量を配膳して、残さず食べられるように指導する。
- 給食当番の仕事を責任をもって取り組むように指導する。
- ほうきやちりとり、ぞうきんなどのそうじ用具の使い方やそうじの仕方を指導する。

## 環境づくり

### 学習規律の共有・統一

学校内で異なる授業においても学習規律を共有・統一することで、子供への定着を図る。

### 楽しく給食できる環境づくり

机をくっつけたりしながら子供同士で楽しく食べられるように工夫する。食材や献立表を掲示し、食や栄養に関する興味・関心を高める。

### 時間割・ルールの掲示

一日や一週間の見通しをもった学校生活を送れるように、授業内容なども記載した時間割を掲示する。授業中や休み時間などのルールを掲示する。

## 主な行事

- ・個人懇談（全家庭対象）
- ・歯科検診（行事Ⅰ）
- ・2計測（行事Ⅰ）
- ・視力・聴力検査（行事Ⅰ）
- ・図書利用指導（国語Ⅰ 図書室の使い方）

### 時間割

※行った学習内容を記載して下さい。

	月	火	水	木	金
朝					
朝の会					
1	ぎょうじ			ぎょうじ	
	2計測	体育館		歯科検診	
2		ぎょうじ			
	体育館	視力・聴力検査 ※学級毎にずらして	体育館		
中休み					
3	こくご				
	図書室利用指導 ※学級毎にずらして				
4					
備考					

次年度に向けて 引き継ぎたいこと